

グラフで見る関西経済 (2020年9月)

2020年9月25日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ~新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる

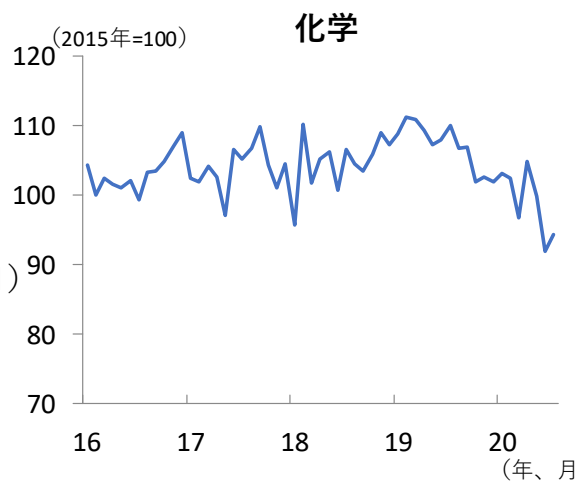
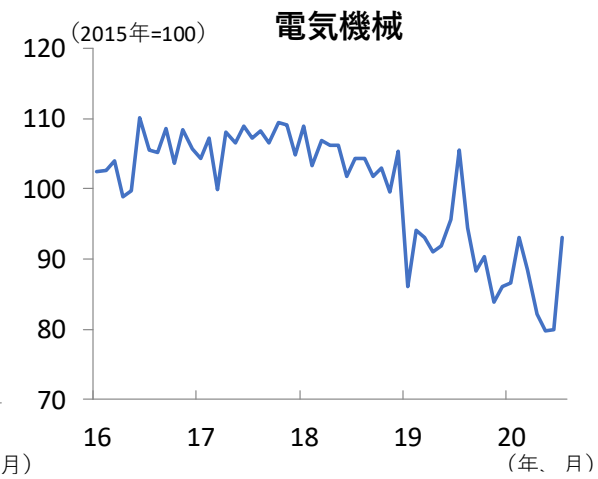
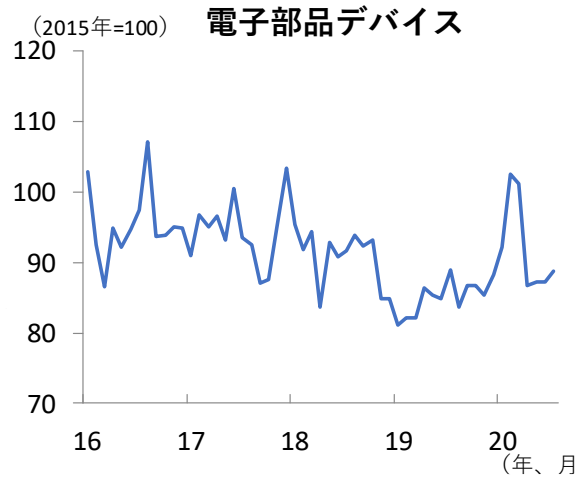
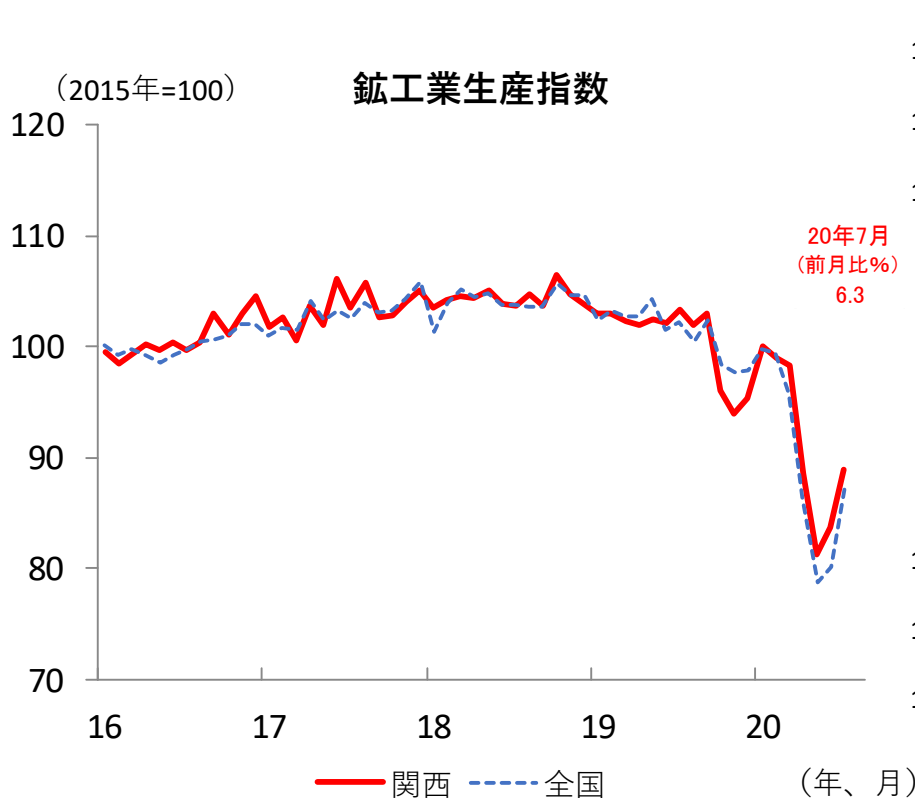
【今月のポイント】

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、足下の指標は総じて厳しい水準にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。
- 生産は電気機械など主要業種が増加し、鉱工業全体で2ヶ月連続で増加した。
- 輸出は名目前年比では減少が続くが、季節性を調整した実質前月比では3ヶ月連続で増加。
- 個人消費関連指標は、小売販売の減少が続くが減少幅は縮小傾向。下げ止まりの動きがみられるものの、インバウンド蒸発の影響で全国に比べ弱い動き。

項目	現状
景気全般	新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる
生産	持ち直しの動きがみられる
輸出	持ち直しの動きがみられる
設備投資	増加基調
雇用	弱い動きとなっている
賃金	弱い動きとなっている
個人消費	下げ止まりの動きがみられる
住宅投資	弱含んでいる
公共投資	横ばい圏で推移している

生産

7月の鉱工業生産は前月比+6.3%と2ヶ月連続で増加した。汎用・生産用・業務用機械、電気機械、化学などが増加した。前年比では-15.2%減。先行きについては持ち直しが見込まれる。

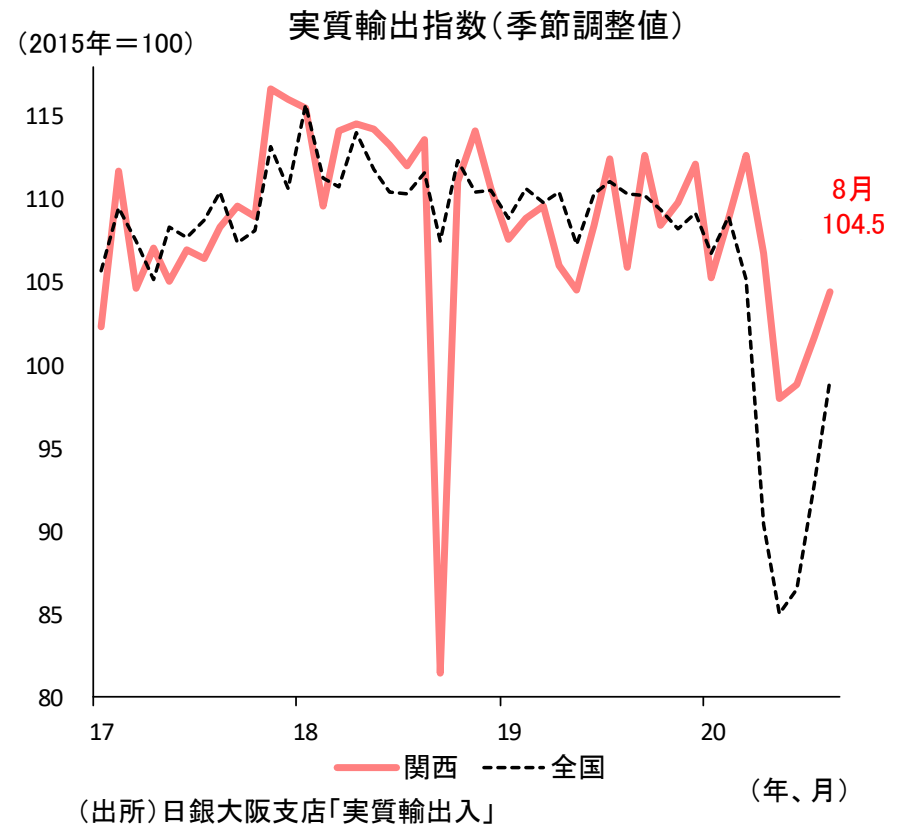
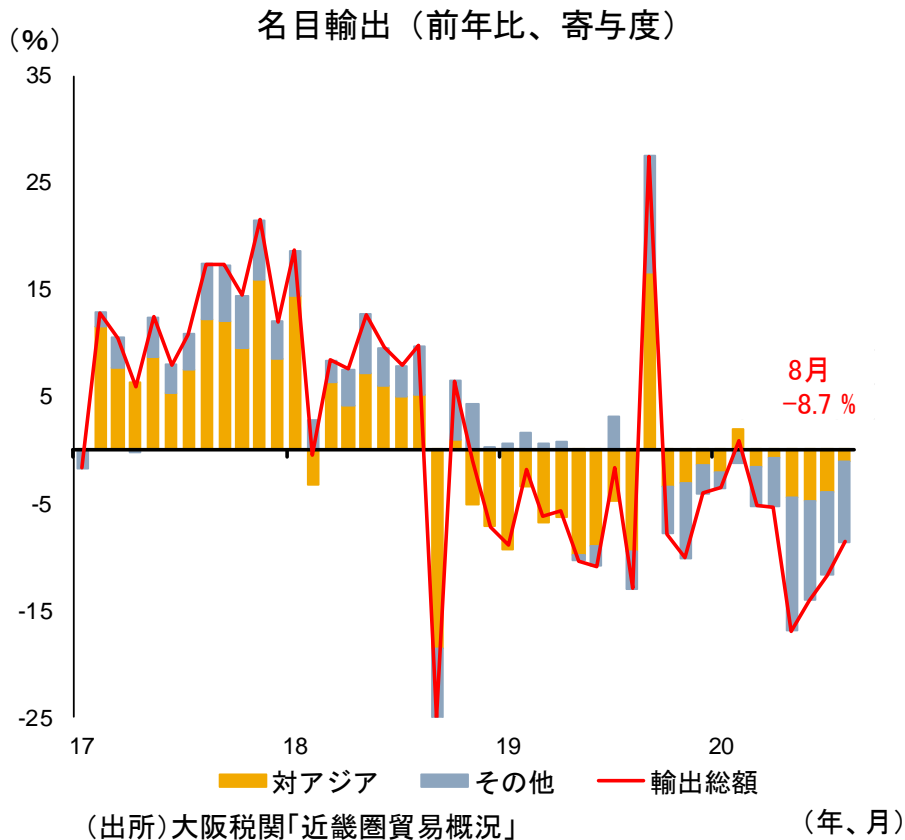


(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

輸出

8月の名目輸出額は前年比-8.7%と6ヶ月連続で減少した。半導体製造装置、半導体電子部品が増加したこと、自動車の落ち込みの寄与が小さかったことなどにより、引き続き、全国(同-14.8%)に比べ落ち込みは小幅となった。

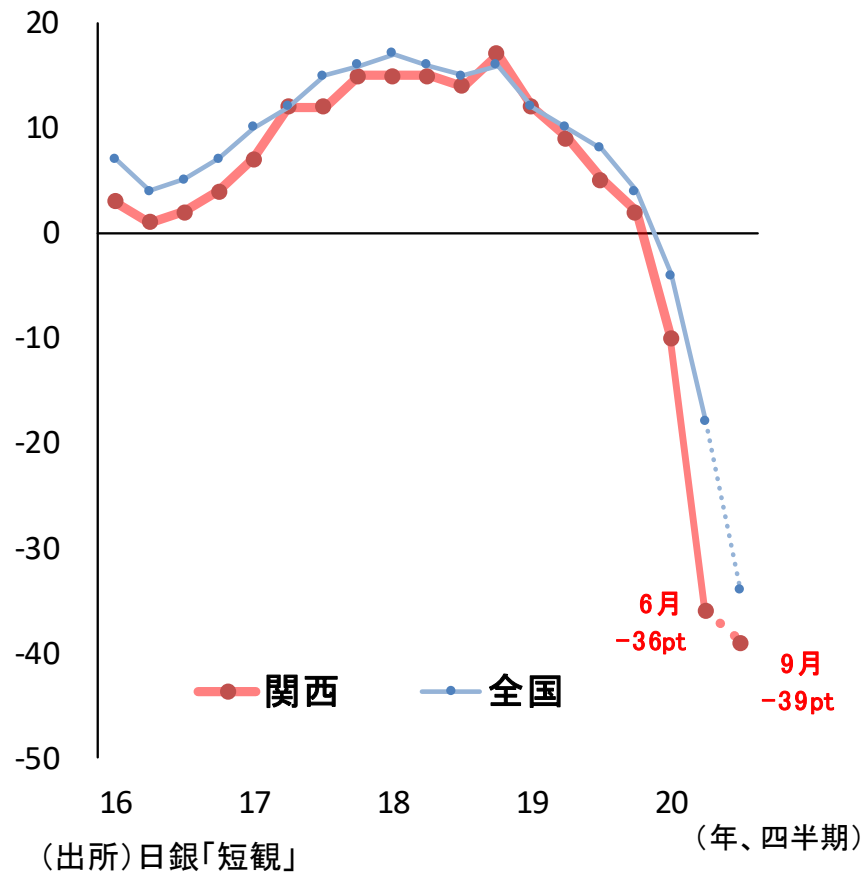
8月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+2.8%と3ヶ月連続で上昇した。



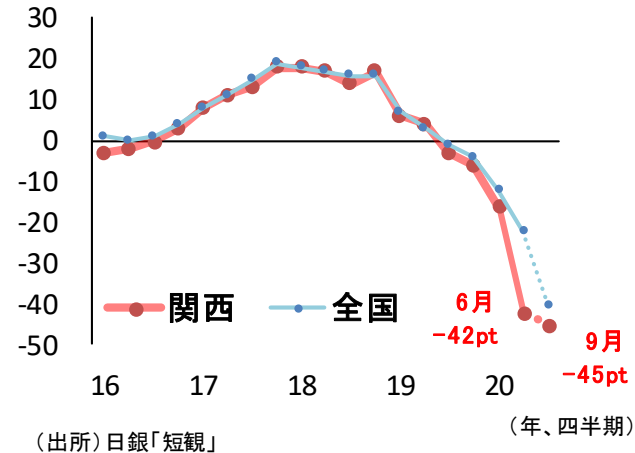
企業景況感(日銀短観) ※以下は7/1公表の6月調査。9月調査は10/1公表予定

日銀短観6月の業況判断DIは全産業で-36ptと3月から大幅に悪化。製造業は-42pt、非製造業は-31pt。先行き(9月)についても、全産業、製造業、非製造業、いずれも悪化が見込まれている。

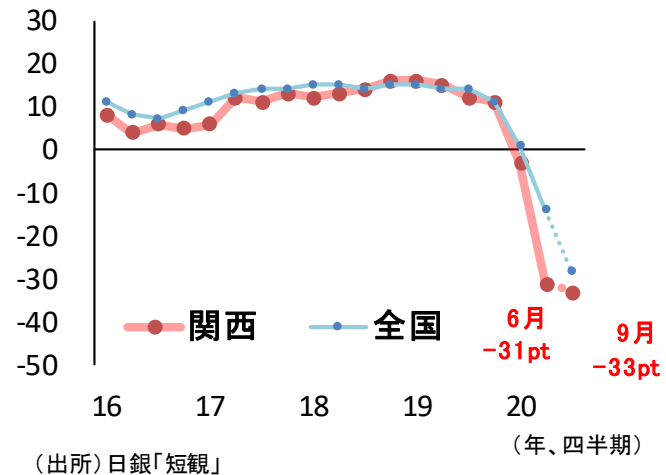
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業

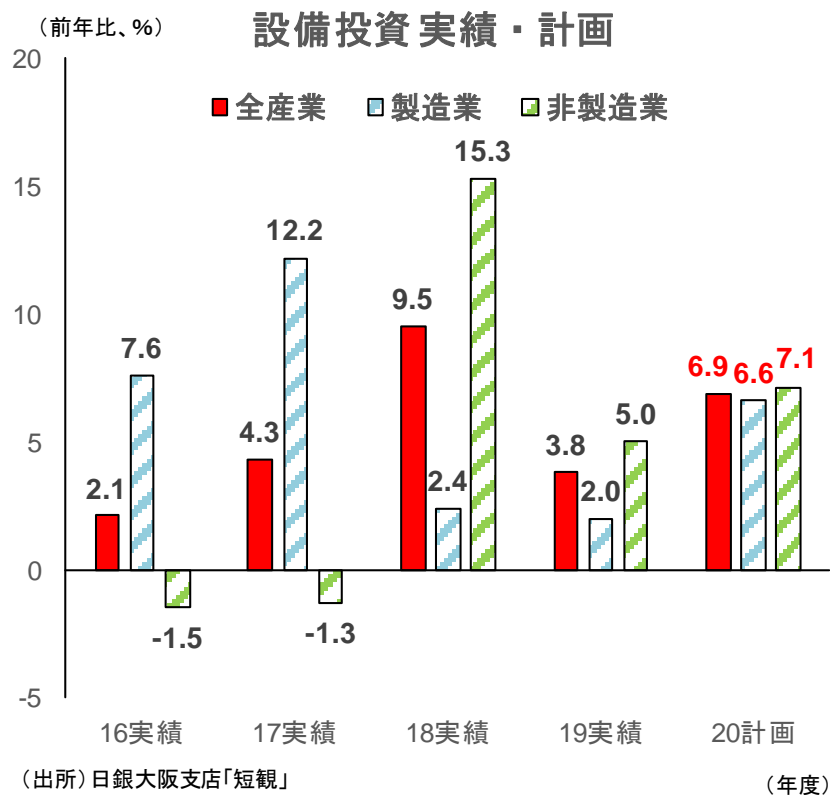


同 非製造業



設備投資 ※以下は7/1公表の6月調査。9月調査は10/1公表予定

日銀短観6月調査によると、19年度の設備投資(実績)は前年比3.8%の増加、非製造業の伸びが製造業を上回った。20年度は全産業、製造、非製造いずれも前年比増加を見込み、3月調査時から小幅上方修正された。



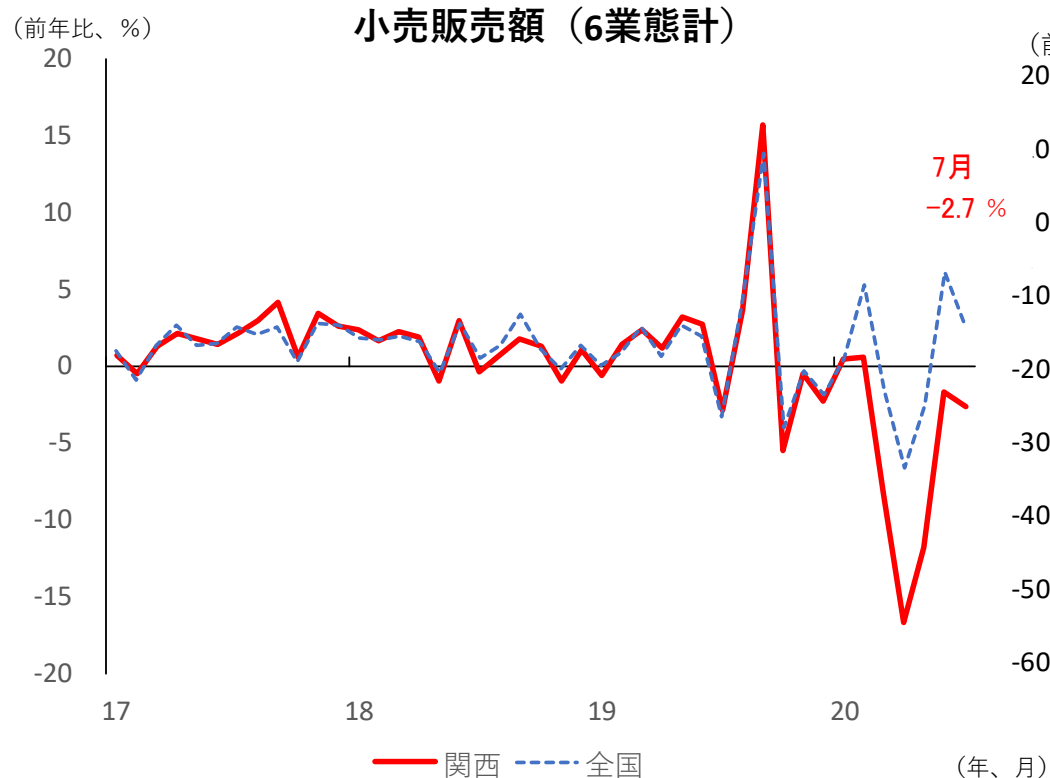
設備投資額(前年比%)

	19年度 実績	20年度 計画	
		今回	3月調査時 [差異]
全産業	3.8	6.9	5.2 1.7
製造業	2.0	6.6	5.9 0.7
非製造業	5.0	7.1	4.7 2.4

個人消費(小売売上、自動車販売)

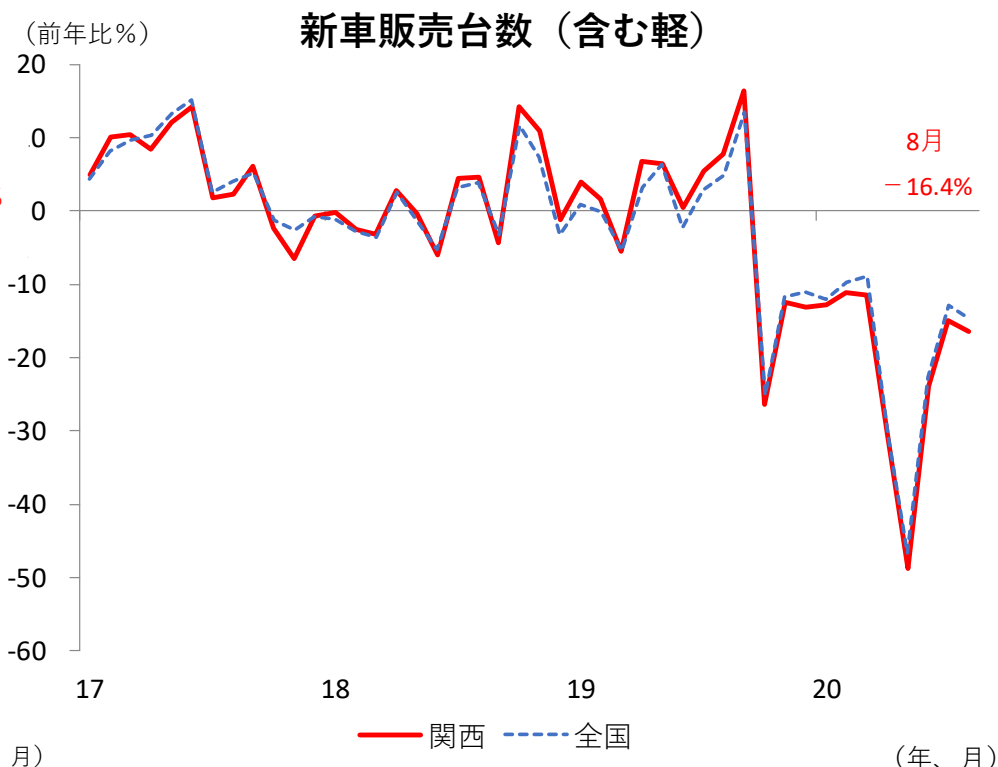
7月の小売販売額は、前年比-2.7%と5ヶ月連続で減少、全国と比べて弱い動きとなっている。インバウンド蒸発の影響が大きい。

8月の新車販売は、前年比-16.4%と減少が続いている。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

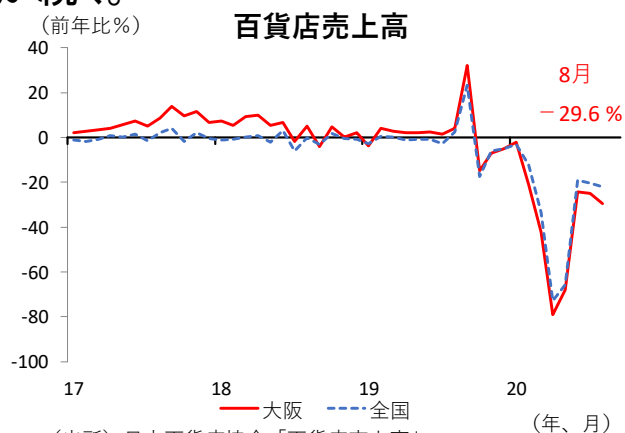


(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

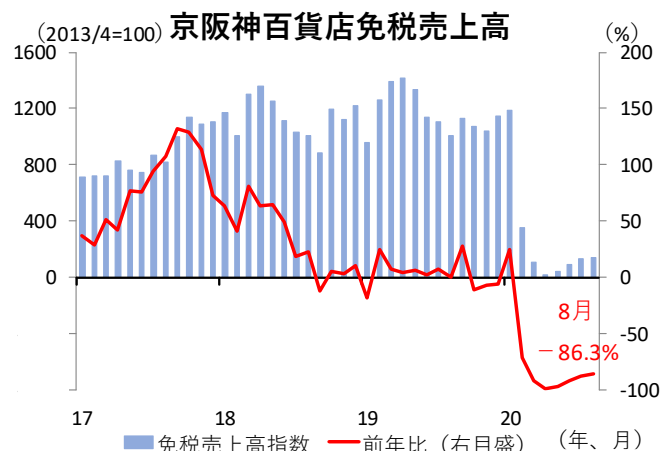
個人消費(業態別)

8月の百貨店売上(大阪)は、インバウンド蒸発の影響で前年比-29.6%と大幅減が続く。免税売上は入国制限もあって同-86.3%と引き続きほぼ消失状態。7月のドラッグストアはマイナスが続く。一方、家電は増加が続く。

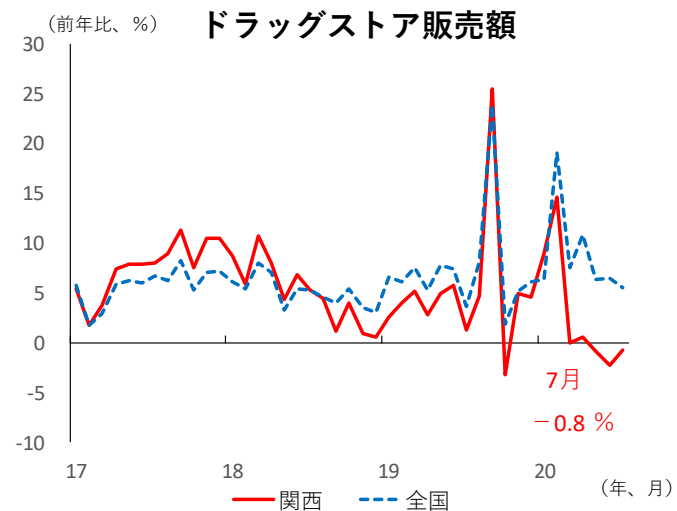


(出所) 日本百貨店協会「百貨店売上高」

(注) 店舗調整後前年比



(出所) 日銀大阪支店「百貨店免税売上(関西)」



(出所) 経済産業省「商業動態統計」



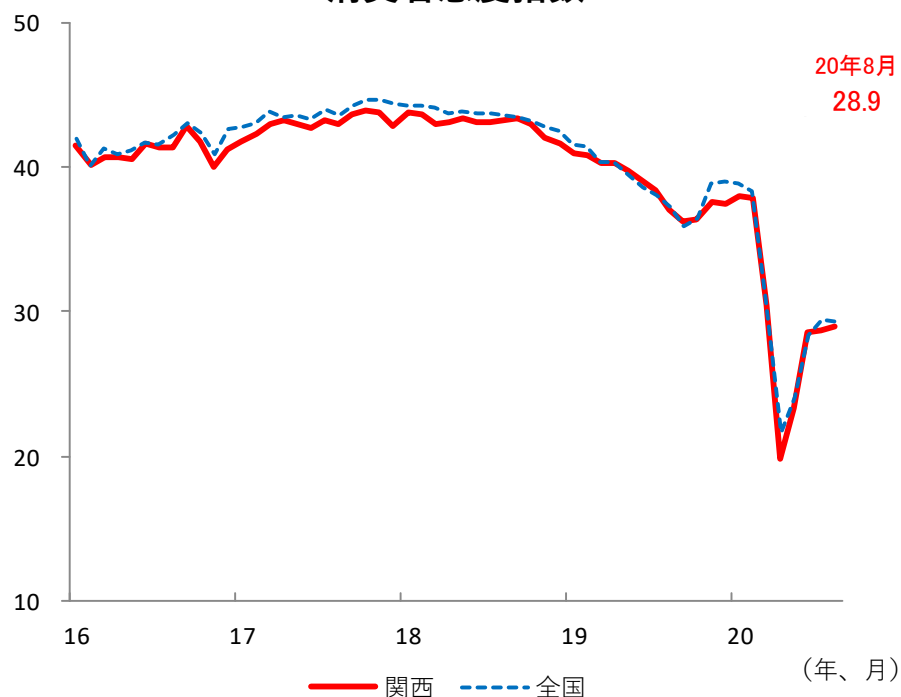
(出所) 経済産業省「商業動態統計」

マインド・景況感

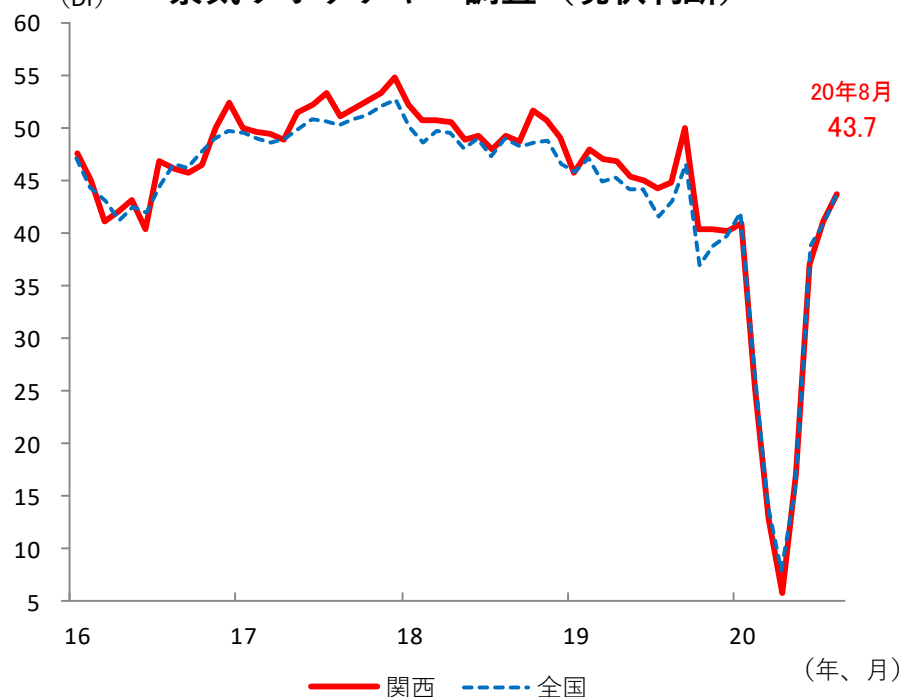
8月の消費者態度指数(季節調整値)は28.9と前月より小幅上昇。

景気ウォッチャー調査の現状判断DI(季節調整値)も43.7と4ヶ月連続で上昇、コロナ感染拡大前の水準まで戻している。

消費者態度指数



景気ウォッチャー調査 (現状判断)



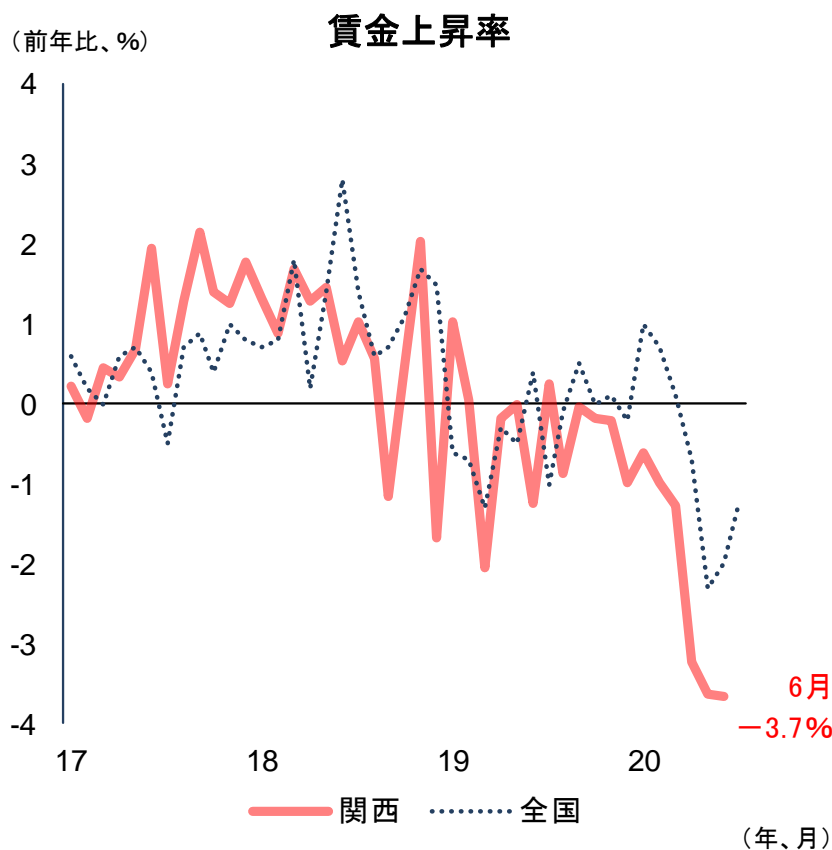
(注)関西の季節調整値はMURC試算

(出所)内閣府「消費動向調査」

(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

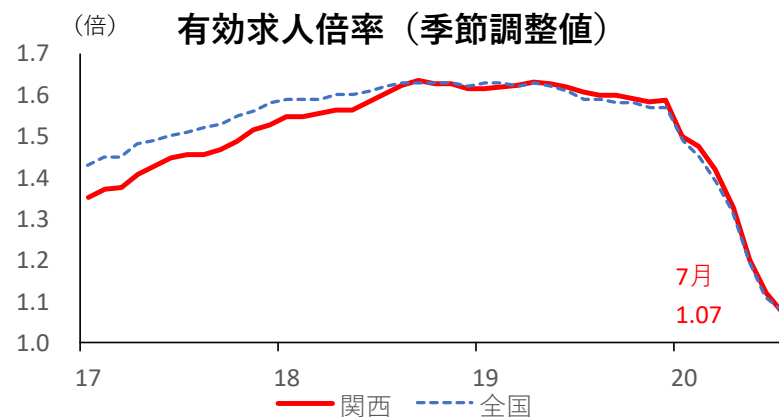
賃金・雇用

6月の名目賃金指数は、前年比-3.7%と11ヶ月連続で前年比減。賃金動向は弱い動きとなっている。
7月の有効求人倍率は1.07倍と7ヶ月連続で低下。求人数が増加したが、求職者数も増加した。20年第2四半期の失業率は3.0%と前期から上昇。就業者数も減少した。

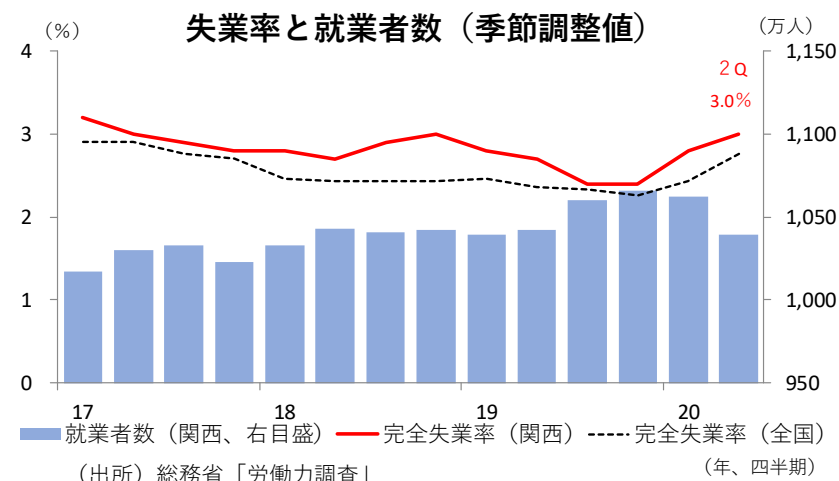


(注) 関西2府4県の名目賃金指数を常用労働者数で按分し合成したもの、MURC試算

(出所) 厚生労働省、各県「毎月勤労統計」



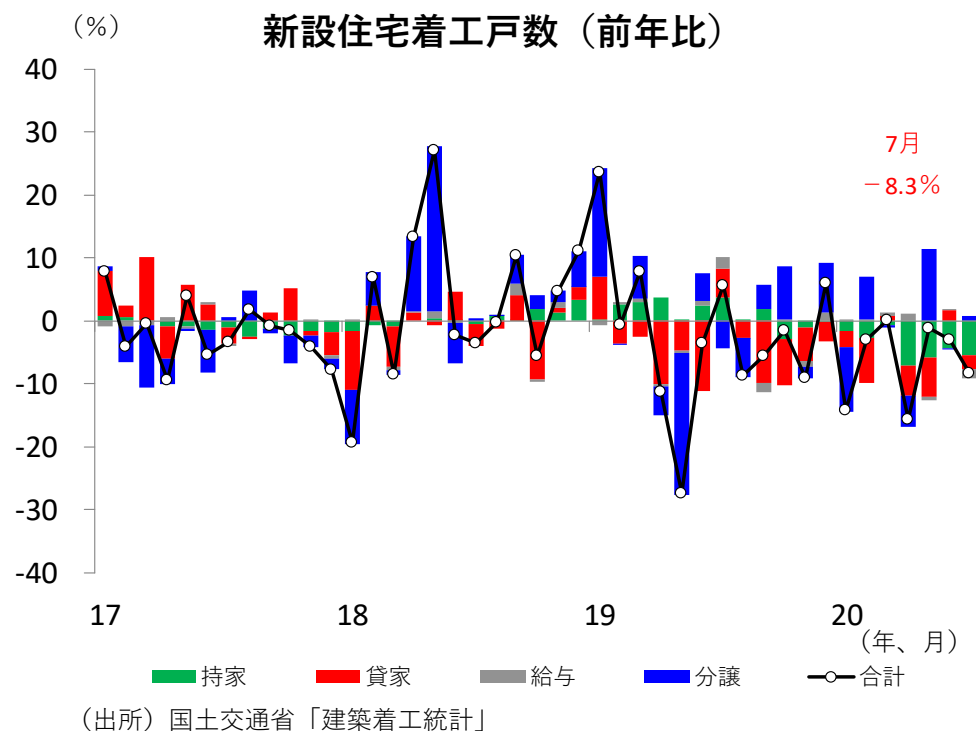
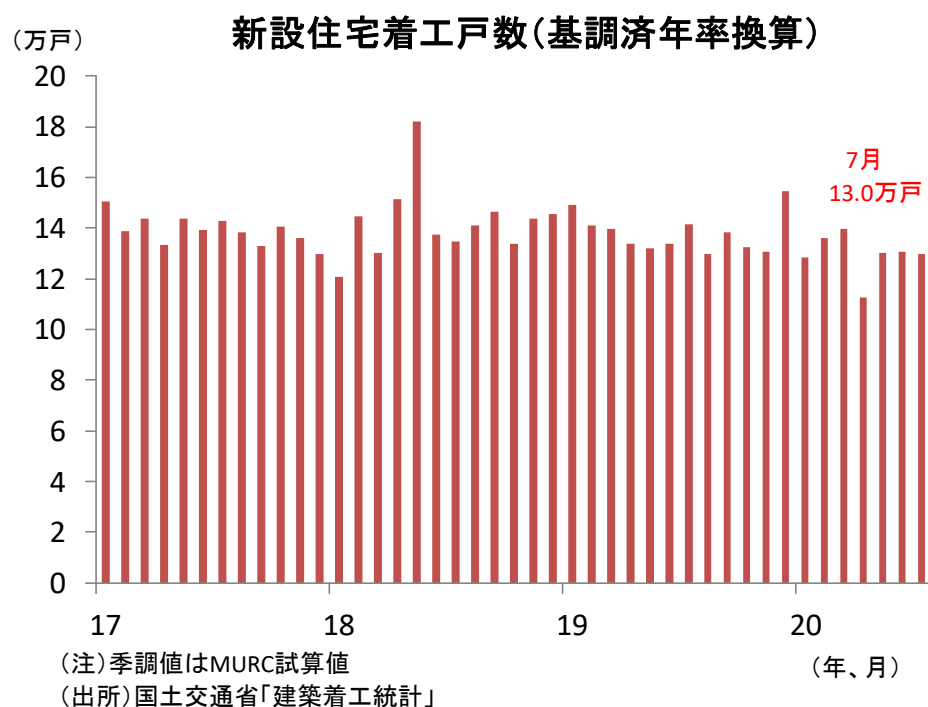
(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



(出所) 総務省「労働力調査」

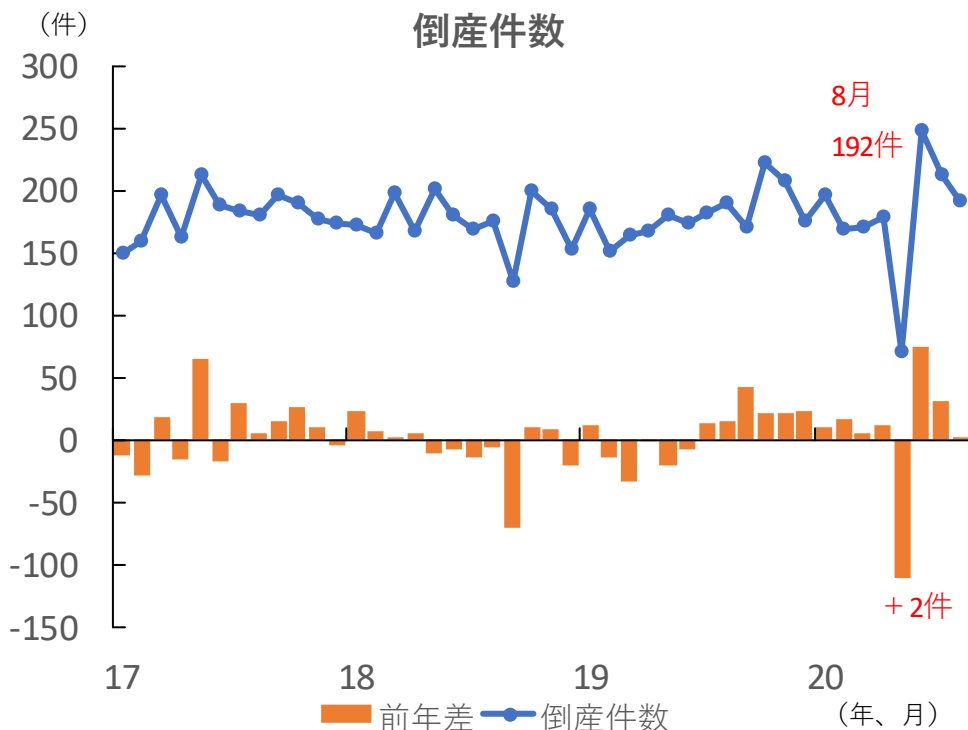
住宅投資

7月の住宅着工は季調・年率13.0万戸、前年比では-8.3%となり、弱含んでいる。分譲(マンション)が増加したが、持家、貸家は減少した。



倒産

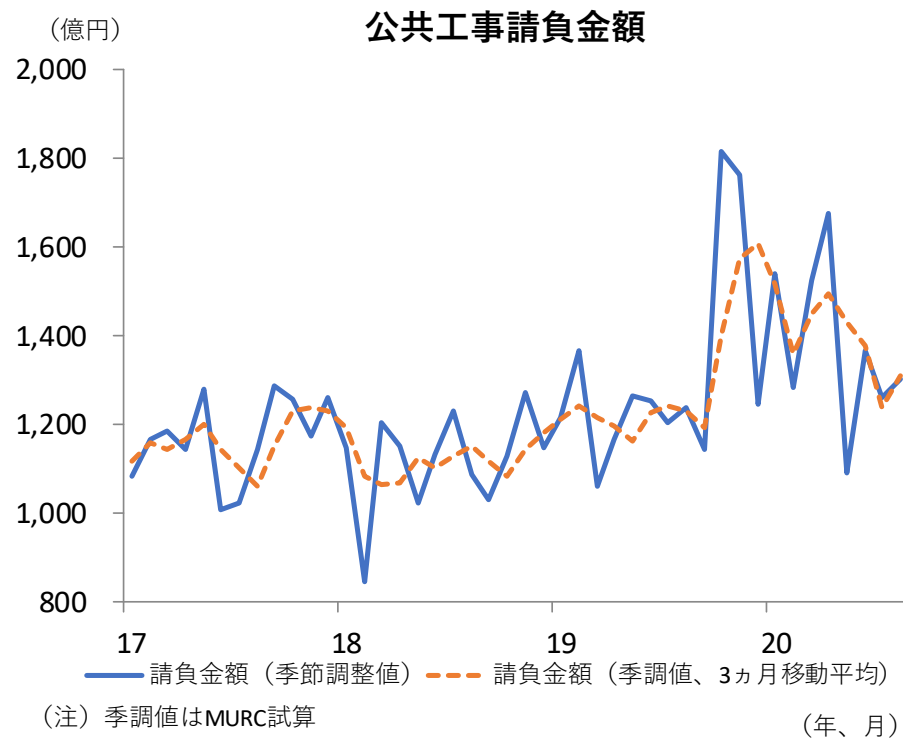
8月の倒産件数は192件(前年差+2件)と、前年とほぼ同水準。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

公共投資は横ばい圏で推移している。



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください